

2016 2/23

No.2013

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—

第37回 ヨコハマ映画祭

映画ファンのための熱いまつり



毎年、映画ファンらが主催する日本映画の祭典「第37回ヨコハマ映画祭」の表彰式と受賞作の上映会が7日、横浜市中区の関内ホールで開かれ、主演女優賞に輝いた綾瀬はるかさんらが舞台を彩り約1100人がスターの晴れ姿を見守った。



政経かながわ

2016 2/23 No.2013

contents

視点・点描	3
温かいスープがあつたら	
講演録	4
真の福祉国家を実現しよう ～知的障害者に導かれた企業経営から～ 日本理化学工業会長 大山 泰弘	
経済	8
マイナス金利、さらに拡大も 「最強の枠組み」で物価目標実現	
政治反射鏡	11
核、ミサイルで高まる緊張 米中は北朝鮮の内部変化待ち	
政治	12
いまなぜ『衆参ダブル選』か 英独は「首相の解散権」を制限	
くらし2016	14
後見活動の悩みサポート	
広告珍談	16
広告はたのしい⑩ ヒトのフンドシで！	
NNAアジア経済リポート	17
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

事務局だより

◇横浜定例講演会

2016年3月3日(木)

13時30分～15時

ロイヤルホールヨコハマ5階

「リビエラ」

講師はノンフィクション作家の
小松成美さん

演題は「一流とはなにか～アス
リートたちの真実」

◇設立50周年記念講演会、

会員交流会

2016年4月19日(火)

ホテルニューグランド

△記念講演会

14時～15時

本館2階「レインボーボール
ルーム」

講師は歌手、女優のあべ静江
さん

演題は「私の歩いてきた道～
みずいろの手紙と私」

△交流会

15時15分～16時30分

タワー館3階「ペリー来航の間」

視点



と銘打つ。

2011年3月11日は鮮明に記憶する。

当時、八戸航空基地にある機動施設隊司令だった。緊急地震速報に続き激しい揺れ。数秒で商用電源はすべて停止。本震から

約40分後に大津波の第1波が八戸沿岸を襲った。漁船が打ち上げられ道路上で横倒しになった。

温かいスープがあつたら

「一杯の温かいスープがあれば命を救えたのではないか」。東日本大震災から間もなく5年。海上自衛隊八戸航空基地隊司令の荻原

洋聰さん（55）＝写真＝は、その専門は土木工学。「災害は忘れたくともやつてくる」が口癖である。

「ユスマ」の名は海賊対策で派遣されたアフリカ北東部のジブチで

地内で住民の救護や施設の復旧に

した。同市内の防衛大学校出身で館を開放して約千人の被災者を受け入れ、暖房や毛布、温かい食べ物のほか、風呂も提供した。

気がつくと雪が降っていた。基

に近い。携帯コンロやコンソメントコーヒー、チョコレート、地

図、磁石、着火用火打ち石、懐中電灯、記録ノート…。東京の防衛省に出張の際も肩に掛けて行くほど徹底ぶりである。

現在は、本業の合間に地元の小学校や町内会で防災を語る。ソーラークリッカーで米を炊き、卵を焼き、「災害は忘れたくともやつてくる」と力を込める。

「ユスマ」の愛称で横須賀の三浦半島地域防災懇話会に出席

の防災・応災・減災セミナー」



（神奈川新聞社横須賀支社長 小野 明男）

懸命だった。津波にのまれた地の多くの人々に思いをはせた。

「生き延びた命には過酷な雪だろ。低体温症でどれだけの命がさらに失われたのか。もし温かいスープがあつたなら」と。防災バッグ携行のきっかけとなつた。

ヒトのフンドシで！

山陽鉄道という、すごい私鉄があつた。

現在のJR山陽本線をはじめ、播但線・予讃線・土讃線などの前身である。明治時代、日本で初めて、食堂車や寝台車を走らせた。鉄道連絡船も、ホテルも運営した。そんな山陽鉄道が、新聞に広告をだした。1896（明治29）年のこと。

「神戸から広島まで、ほぼ300キロの各駅で、下等乗車券を半額で発売する。7月25日から、8月3日までの10日間」と。そこから先が、なかなかいい。7月26日までの3日間、安芸・厳島神社の祭典がある。納涼に最適だよ。

・7月25日は、大阪・天満宮でお祭りがあるよ

間日十
 運行日三月八日より四月廿五日

神戸廣島間全線路 (百九十九)
等旅客賃半減の切符を發賣を

但半減賃額五錢未滿ハ五錢を申受く

○七月廿六日より三日間安芸嚴島神社大祭典あり
 又納涼にて最も良し

○七月廿五日大坂天満天神社大祭典あり
 ○須磨・舞子・及び鹽屋並に舞子公園の新驛ハ納涼と海水浴の好季節なり

○岡山後樂園ハ夏時の風色豊けるが如く最も納涼に良し

神戸市 山陽鐵道株式會社

・須磨・舞子・塩屋は、海水浴シーズンだよ

・岡山の後楽園はすばらしい景色で、納涼にも適してること。沿線の観光地を折りこんでいる。ここまでくどかれたら、そこの鉄道に乗つて出かけたくなる。

1900（明治33）年から走った。乗客の荷物をはこぶ『赤帽』を初めて採用したのは1896（明治29）年。手荷物を到着と同時に、受取人に配達したのは98（明治31）年、おなじ年から列車に『ボイ』が乗務した。1901（明治34）年、下関と門司間に連絡船を

OKしたのだろう。だから『食堂車』が山陽に登場したのは99（明治32）年、東海道線より2年も早い。『寝台車』は1900（明治33）年から走った。乗客の荷物をはこぶ『赤帽』を初めて採用したのは1896（明治29）年。手荷物を到着と同時に、受取人に配達したのは98（明治31）年、おなじ年から列車に『ボイ』が乗務した。1901（明治34）年、下関と門司間に連絡船を

はならない。そういうしているうちに、夏が終わってしまう。ところが山陽はコシが軽く、たちまちOKしたのだろう。

だから『食堂車』が山陽に登場したのは99（明治32）年、東海道線より2年も早い。『寝台車』は1900（明治33）年から走った。乗客の荷物をはこぶ『赤帽』を初めて採用したのは1896（明治29）年。手荷物を到着と同時に、受取人に配達したのは98（明治31）年、おなじ年から列車に『ボイ』が乗務した。1901（明治34）年、下関と門司間に連絡船を

運行した。と同時に下関にホテルを開業した。「狩獵キップ」を発売したり、夜行列車の乗客に「カヤを貸出し」たりと。なにもかも、日本最初のアイデアである。

どうしてここまでやつたのか。じつは、ライバルが海にいた。瀬戸内海を航行するフネが、快適な船旅をとさかんにアピールしていった。負けるもんかと努力する山陽鐵道は06（明治39）年、国営化された。670キロの線路も、12隻による6航路の連絡船も、ホテルもまき上げられた。ヒトのフンドシで、相撲をとるとはこのことなり。

山陽を築いた藤田伝三郎のコレクション（紫式部日記絵巻や天目茶碗など）は、大阪に『藤田美術館』として広く知られている。（美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住）（図）山陽鉄道の運賃半額の広告。

1896（明治29）年7月23日、各紙掲載